

平成28年10月1日

作業療法士各位

一社) 沖縄県作業療法士会
高次脳機能障がい研究会
代表 渡辺健一

第5回 高次脳機能障がい研修会 北部地区勉強会 「記憶障がい」について (ご案内)

拝啓 時下、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本会事業に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、高次脳機能障がい研修会 北部地区勉強会「記憶障がい」を企画しましたのでご案内申し上げます。

高次脳機能障がいは比較的、作業療法士(以下 OT)が関わることの多い疾患です。けれども医療関係者間でも「見えない障がい」と言われ混乱を来しやすい疾患ともいえます。なぜなら入院時よりも退院後の生活場面で障がいが露見することが少なくないためです。さらに経過も長期に及ぶため医療～福祉・行政等のシームレスな連携が不可欠とならざるを得ません。

そこで、まずは医学的基礎知識の確認や検査方法～解釈から、県内外社会資源等の情報共有を図りたいと考えています。将来的には県内各地域の高次脳機能障がいに対する OT 全体のスキルアップを構想しています。

つきましては業務ご多忙の折とは存じますが是非、御参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：平成28年10月26日(水) 午後19時～20時30分

会 場：琉球リハビリテーション学院

内 容：①当研究会の目的/方向性

②高次脳機能の基礎知識や評価検査、ディスカッション

琉球リハビリテーション学院 渡辺健一

参加費：100円(資料代)

締 切：平成28年10月26日(水) 15:00ごろ

※参加をご希望される方はQRコードかメールにてお申し込み下さい。



送信先：リハビリテーション室
作業療法士 各位



高次脳機能障がい研修会 「記憶障がい」編のご案内

高次脳機能障がいの方の作業療法に関わる際には様々な知識・対応が求められます。そこで今回は基礎知識確認と記憶障がいに関する内容を予定しています。今後、読影や将来の社会復帰を見据えた県内外の社会資源情報、リハビリメニュー紹介など対応全般のスキルアップを構想しています。

この障がいが別名「見えない障がい」と言われる所以は生活場面で障がいが露見することが少なくないことが挙げられます。しかも環境によって大きく左右されます。言い換えれば周囲の関わり方を整えることが出来れば、障壁を低くすることも不可能ではありません。そのためにも知見を重ねて見識を深めることが最善であることは自明の理です。

今回、高次脳機能障がいの方々をどのように支援していけば良い方向へ導く事が出来るのか、皆で考えていきたい、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

<<<< 開催要項 >>>>

日時：平成28年10月26日（水）19:00～20:30（受付18:30～）

場所：琉球リハビリテーション学院

内容：①高次脳機能障がい「記憶障がい編」

②基礎知識、評価検査、リハビリ、ディスカッション

対象：高次脳機能障がいに関心のある作業療法士（県士会員限定）、他職種

参加費：100円（資料代）

申込方法：①QRコード ②下記アドレス

②の場合、件名「高次脳機能障がい研修会参加希望」と氏名・所属・連絡先を記入の上、

アドレス watanabe-k@ryukyu.ac.jp へ送信して下さい。

申込メール受信後、確認メールを返信致します。

申込期限：平成28年10月26日（水）15:00ごろ

<問い合わせ先>

〒904-1201 沖縄県国頭郡金武町金武4348-2
琉球リハビリテーション学院 作業療法士 渡辺健一
※都合により、お問い合わせはメール対応のみです

